

いっしょにあそぼ！

- 日 時 2011年10月30日（日） 10時～12時
- 会 場 厚木市総合福祉センター
- 参加数 大人110名・子ども65名
- 対 象 3歳未満の子どもとその家族
- 参加費 無料
- 目 的 家庭的保育者が親子（子どもの対象は3歳未満）にふれあえる場を提供し、いっしょに遊びながら家庭的保育の保育内容や保育室の様子など紹介し、家庭的保育の実際を伝える。

受付

受付担当は、来てくださった方の出席確認、氏名、住所などを記入してもらうよう言葉をかけ、各コーナーごとにシールを貼るシールラリーのカードを子ども達に渡し、ベビーカー置き場の案内と番号札を渡しました。来場者が予想以上に多かったので、シールラリーのカードが途中で無くなり、増刷しなければいけないほど盛況でした。（担当 井上）



ダンボール迷路



たくさんのダンボールを並べて迷路を作り、ダンボールの側面には、子ども達に人気のキャラクターの絵をいっぱい張りました。子ども達は自由に動き回り、トンネルをもぐったり、何回も出入りして出口を覚える子どももいたほどです。「キャラクターがかわいいね」といってくださる方や、子どもが夢中になりすぎて、保護者の方が、「他のところも見ようよ！」と言うほどにとっても好評でした。（担当 市川）

パネルシアター

エプロンシアターをするのは初めてというメンバーでしたが「森のかくれんぼ」「大きなかぶ」とも好評でした。歌も司会の声もきれいで良かったですし、キーボードの伴奏が、手遊び、エプロンシアターの動作に合わせてタイミングよく上手に流れたと思います。あおむしの手遊びでは手作りの手袋と歌詞を作り、好評でした。紙芝居は暖かい雰囲気でももとおとなもほっこりしていました。（担当 大倉）



竹細工コーナー



お祭りのイベントを楽しんで頂こうと言うのが皆の一致した意見。そこでまず思い浮かべたのが、いつも親しくしていただいているお隣の新井さん。新井さんは地域の子も達に竹細工を作ってくれる人気者です。会場では竹とんぼ・ちようちょ・かえる等を製作実演してくださいました。お土産をもらった子どもたちは、おうちにかえって竹とんぼの練習をして喜んでいました。 (担当 市瀬)

さかなつりコーナー

昨年、川崎で行われた「いっしょにあそぼ」で子ども達に好評だった「さかなつり」を川崎のメンバーにアドバイスいただいてコーナーを作りました。さかなは牛乳パックを母体に折り紙やシールで作成し、釣竿は広告紙を細く丸めてビニールテープで斜めに模様をつけ、針は牛乳パックでS字を作りアルミホイルで巻きました。さかなつりを子ども達がとても喜んで何回も楽しみ、そして釣ったお魚はおみやげとして持ち帰ることができました。 (担当 本山)



風船コーナー



風船コーナーは厚木市の小林さんにご協力をお願いしました。ハロウィンの衣装を身にまとった小林さんが、わずか30秒ほどでディベアーや剣・お花・かたつむり等、あっという間に色々な形が出来上がりました。その手さばきを不思議そうに見つめる子、わくわくしながらまっている子、少し怖そうな顔で見ている子など、子ども達の表情もいろいろ。ずっと行列が続いて大盛況でした。 (担当戸崎)

紹介コーナー

紹介コーナーでは厚木市の各家庭保育福祉員が大きな模造紙に写真を貼って日々の保育の様子を目で見えてわかりやすいように紹介しました。また、ステージでは6名の家庭保育室の写真をスライドショーにして50枚以上の写真が次々と流れていきました。当協議会のリーフレットを配布していたら、興味を持った保護者の方から「制度を知らなかった！詳しく教えてほしい」と言われ、ピーアールの大切さを感じました。 (担当市瀬)



ヨーヨーコーナー

透明のビニールプールの中にヨーヨーを〇個用意しました。それをスコップとシャベルを3種類用意して選んですくってもらいました。子どもたちはすくいたい気持ちが強く「何回でもすくって良いよ」という声掛けに嬉しそうでした。0才児はシャベルでなく手でゴムを持って持ち上げていました。他のコーナーを回ったら、最後に「にまだおいで！」と言うとヨーヨーがほしくてもう一度チャレンジしていました。（担当 大倉）



お面コーナー



キラキラした瞳で「どれにしようかな？」お面を選ぶのに迷っている子どもの一番人気はアンパンマン・バイキンマン。たくさんある中で早く売り切れたのはアンパンマン。もう少し準備しておけば良かったと反省！お面を選んだら、帯に好きなシールを張ってペタ・ペタ・ペタ……。パパとママと一緒に貼って親子で楽しめ良かったと思います。

（担当 戸崎）

おみやげコーナー

川崎の仲間が沢山の手作りのお土産を製作してくれ、厚木のメンバーも作成しました。ペットボトルのガラガラ、蛙のカスタネット、ペットボトルのシャカシャカボール、特に手で回すとキラキラ光るおみやげが人気がありました。家に帰ってもおみやげのおもちゃで遊んでいたと喜ばれました。

（担当 井上）



「いっしょにあそぼ！」開催を終えて

昨年度は川崎で、その前は横浜で開催した「いっしょにあそぼ！」を今年度は厚木で開催しました。

厚木は家庭保育福祉員の人数も少なく、このような経験もない中での手探りの初めての保育イベント。10月30日を試行錯誤しながらやっと迎えました。いろいろな不安がありましたが、自分達が、まず楽しみたい、そして楽しいイベントにしたいと思いました。皆様のご協力を得て、私たちの思いを達成し、今までの長い道のり思い浮かびました。当日はお天気にも恵まれ、会場が本厚木駅のすぐ近く。事前申し込みの親子と、受託児の子ども達、ちょうど中央公園でフリーマーケットを開催していた事もあり、会場周辺で親子連れの方々にチラシを配布したところ、多くの方が集まってきてくれました。広い会場でしたので、参加者が少なくは・・・という心配も吹き飛ぶ大盛況ぶりでした。（責任者 市瀬）